



医療統計に立ちほだかる壁が崩れ、 視野が広がる一冊

評者 | 神田善伸 自治医大教授 / 同大さいたま医療センター教授・血液学

医療統計解説書のベストセラー、『今日から使える医療統計』の待望の第2版が刊行された。本書は皆さんご存じ、大阪公立大学大学院医療統計学の新谷歩先生の著書である。

新谷先生は米国ヴァンダービルト大学から帰国されて以来、日本の生物統計学の脆弱な基盤を改善するために教育的活動に熱心に取り組まれている。多くの医師が感じる医療統計の高い壁。本書を読むことでその壁が徐々に崩れ落ち、視野が広がっていく。そんな一冊である。

10年ぶりの改訂となった第2版では、リスク比やオッズ比、回帰分析のメカニズム、欠損値の補完、繰り返し計測データの解析、ベイズ法などの実践的な項目が追加された。偶然か否かを示す値に過ぎないP値は、効果の大きさを表すことはできない。やはり、重要なのはリスク比、オッズ比などのエフェクトサイズを理解し、活用することである。また、後方視的研究において必然的に生じる欠損値をどのように考えるか、補完しない場合 / 補完する場合の問題点がわかりやすく解説されている。ベイズ法は臨床医の日ごろの感覚に、より近いと感じられるかもしれない。

巻末には新谷先生のYouTubeチャンネルの教育動画のQRコードが掲載されている。なんとその数は122本である。これだけでも新谷先生の医療統計教育にける情熱が伝わってくる。かたや私は血液内科医であり、代表著書は同じ医学書院から刊行の『血液病レジデントマニュアル 第4版』である(宣伝)。医療統計の専門家ではない私がなぜ本書の書評を執筆させていただいているのか。それは、私が個人的趣味で開発し、無料公開している統計ソフト「EZR」を新谷先生も教育現場で積極的に活用してくださっており、私自身もEZRのバージョンアップ作業においてしばしば新谷先生に相談させていただいているつながりからだろう。

新谷先生が「EZR」に関連する書籍を出版された際には、私のEZR書の売り上げが落ちるのではないかと心配したが、逆にEZRの知名度を高めてくださることで拙著の売り上げも上昇した。おかげさまでEZRの開発を紹介した論文の被引用回数は1万2000回を超えている。

新谷先生にはこれからも、医師を正しい医療統計解析へと導いてくださる架け橋としてご活躍を続けられることを期待している。



今日から使える 医療統計

第2版

新谷 歩=著

定価: 3,740 円 (本体 3,400 円 + 税 10%)
A5・頁 248 / 医学書院 / 2025
[ISBN978-4-260-05758-5]